

第1回日本金融学会賞

受賞者

内田 浩史 氏
神戸大学大学院経営学研究科

授賞理由

内田浩史氏は、これまで銀行を中心とする日本の金融システムの実証研究において数々の優れた成果をあげ、それらを Journal of Banking & Finance、International Economic Review、Journal of Money, Credit and Banking など、世界のトップクラスの国際学術誌に掲載するなど、その業績は内外の学界で高い評価を得てきました。また、2024年9月に慶應義塾大学出版会から出版された『現代日本の金融システム』は、バブルとその崩壊以降の日本の金融システムを、制度的な事実を踏まえ、各種データでその実態を把握すると同時に、既存の実証分析（エビデンス）を整理することで、きわめて説得力のある議論を展開した力作で、第65回（2024年度）エコノミスト賞および第68回（2025年度）日経・経済図書文化賞を同時受賞されました。

学界では、これまでも日本の金融システムに関して膨大な研究が蓄積されてきました。内田氏は、これらの研究成果を、最新のものも含めてバランスよくまとめると同時に、独自の視点から新たな示唆を導いてきた点はきわめて高く評価できるものです。よってここに内田氏によるこれまでの優れた学術的業績を称え、日本金融学会賞を授与いたします。

日本金融学会賞審査委員会

植杉 威一郎

櫻川 昌哉

高槻 泰郎

敦賀 貴之

福田 慎一（委員長）